

拝啓 今年も早や 10 月下旬となりました。いつもエンカウンターをお読み頂きありがとうございます。近所の公園では、今年はきんもくせいも咲くのが遅く、今年はまだ咲かないのかと思っていましたら、約 2 週間遅れで急に咲いて、例年と同じ香りを漂わせてくれました。今年台風が多く、横浜は大したことがなかったのですが、全国では、堤防が切れたり、土砂崩れ、停電で大変な災害があり、被災された方は、お気の毒に思います。

今回は、小西芳之助先生の『わが主イエスよ—恵心流キリスト教・説教集—』の 11 回目で、「第 12 講 難信易行」からの紹介ですが、1 ページ、「信仰は難しい」という項に書かれているように、信仰(の奥義=十字架の贖い)は、本当に難しいと思います。来世を扱うのが宗教ですから、科学で説明できることでなければ納得しないことに慣れている現代人にとって難しいのは当然だと思います。宗教が来世を扱う以上、キリスト教であれ、仏教であれ、どの宗教でも、難しさは同じだと思います。そこで、小西先生の「易行」(称名の信仰)が大切な教えとなるわけです。

また、3 ページ、「私は内村鑑三先生から聖書講義を聞いた」という項には、高等学校 3 年、大学 3 年と 6 年間、毎日曜、内村鑑三先生の聖書の講義を聴いたとありますが、小西先生は、「称名」という内村先生が唱えられなかった事を話されますが、私は、小西先生は、内村先生から受け継がれた信仰を話されている、内村先生の十字架の贖いの信仰を真に受けとめるために称名の信仰を主張されていると言ってもよいと思っています。

また、内村先生の信仰は、パウロ—内村—小西と伝わってきた信仰であり、原始キリスト教に近い信仰と言えるのではないかと思います。信仰は、教会が興り、後継者を育てるのに学校ができ、宗派ができるのは当然のように思いますが、どの宗派であっても、パウロの信仰を基礎に据えるということが必要ではないかと思います。

9 月 29 日、30 日と一泊で伊豆大島に行き、三原山に登ってきました。本誌読者の相沢悦子様とお会いしたかったのですが、東京に来ておられて御不在でお会いできませんでした。ゆっくりした日程で、素晴らしい仲間にも恵まれ、雨の降った第 1 日目は、火山博物館、波浮の港を訪ね、第 2 日は、登山もでき、温泉にも入れ、印象に残る山旅でした。

10 月 20 日(日)は、公園散策の会の友人と昭和記念公園を訪れました。昭和記念公園は、この時期は、広大な丘にコスモスが満開でよかったことのほかに、園内にきんもくせいの巨木が、何十本(推定では 50 本ぐらい?)もあり、丁度満開でよい香りを漂わせておりました。昭和記念公園は、青梅線西立川の駅前に入り口があり、約 200 ヘクタールもある巨大な公園ですが、水辺公園、ひろっぱ、日本庭園、フランス式庭園、コスモスの丘などいろいろな種類の公園が配置されており実に立派な公園です。園内が広いので相当歩くことが必要ですが、一度是非行かれてみることをお勧めします。

これからは、しばらくはさわやかな毎日が続くことを期待しますが、みなさまもどうぞお元気でお過ごしください。

2019 年 10 月 24 日

山口周三

エンカウンター読者各位